

奥津軽の芸能と技を体験

津軽三味線発祥の地、奥津軽の音色を楽しむ

たった3本の弦でダイナミックかつ繊細な音楽を奏でる津軽三味線。その元祖、仁太坊(秋元仁太郎)は五所川原市金木地区の出身で、苦勞の末に「叩き奏法」など独自の演奏法を生み出します。やがて、彼の弟子たちが現在の津軽三味線の基礎を築きました。「津軽三味線会館」では津軽三味線の生演奏のほか、事前に予約すればプロから指導を受けて弾くこともできます。また、「津軽三味線全日本金木大会」および「仁太坊まつり」では、若手演奏家がエキシビションで熱い演奏を披露しています。

【津軽三味線会館】(MAP:●F-3)

- 期間／4月～11月 ●時間／9:00～16:00
- 料金(入館)／一般600円、高大400円、小中250円、音出し体験有り※要問合
- 演奏時間／1日5回各20分(8月4日～8日は6回)
- 休／12月～3月
- 交通／津軽鉄道金木駅より徒歩約7分
- 問／津軽三味線会館 ☎0173-54-1616



津軽三味線会館



仁太坊まつり

【津軽三味線全日本金木大会】

- 期日／7月上旬 ●場所・問／津軽三味線会館
- 【仁太坊まつり】
- 期日／9月上旬 ●場所・問／津軽三味線会館

“焼き締め”の逸品、「津軽金山焼」

「津軽金山焼」は、釉薬を使わず、高い温度でじっくり焼き固める“焼き締め”という方法で造ります。最近では、酸素を送らずに焼成するグレー色の須恵器作品や、稲わらや林檎の木の灰を釉薬としたコラボレーション作品なども製作しています。津軽の土と炎から生まれる色合いと模様は、それぞれに異なり、同じものは一つもありません。素朴ですが深い魅力があります。



津軽金山焼の作品の一例

【津軽金山焼】

- 時間／9:00～17:00 ●交通／JR五所川原駅より車約15分 ●問／☎0173-29-3350 ●MAP:●F-3

金山焼陶芸教室「ちゅうばち」

手ぶらで気軽に金山焼の作品づくりを体験できます(通常は予約制)。手びねりと電動ろくろのコースがあり、個人、団体、出張教室もあります。わかりやすく丁寧に指導してくれるので、年齢を問わず、初心者でも安心して体験できます。



津軽金山焼の陶芸体験

【金山焼陶芸教室「ちゅうばち」】

- 営業時間／10:00～15:00 ●所要時間／30分～90分
- 料金／手びねり:2,200円(税込) 電動ろくろ使用:5,500円(税込)
- 定休日／不定休(要予約)
- 問／☎080-8488-2485 ●MAP:●F-3

かなぎ元氣村「かだるべえ」で田舎体験

約150年前に建てられた民家を改装した「かだるべえ」は、「一緒にやりましょう」という津軽の言葉から名付けられました。香りにリラックス効果がある青森ひばのリースや津軽に古くから伝わるものづくり、田舎のスイーツ作りなど、一緒にチャレンジしてみませんか？

【かなぎ元氣村】

- 期間／通年 ●時間／10:00～16:00 ●1週間前まで要予約
- 休館／不定休※要問合 ●料金／要問合
- 交通／津軽鉄道金木駅より車約12分
- 問／かなぎ元氣村「かだるべえ」☎0173-52-2882 ●MAP:●E-1



田舎のスイーツ

自然と風物詩を体感

日本三大美林、「青森ヒバ」の森を歩く

自然とふれあうなら「奥津軽トレイル」がおすすめ。かつて、木材を運ぶための森林鉄道が敷かれていた青森ヒバの森で、軌跡をたどる8つのコースがあります。ヘルスツーリズム認証プログラムによる、DAZAI健康トレイルも提供しています。

【奥津軽トレイルガイド】

- 料金／半日8,800円、1日16,500円 ※ガイド1名に対し10名以内
- 所要時間(車の移動時間は別)／1時間30分～6時間30分 (MAP:●A 奥津軽トレイル 参照)
- 問／かなぎ元氣村「かだるべえ」 ☎0173-52-2882



極寒の「地吹雪体験」

雪は空から降ってくるとは限りません。積もった雪が強い風で舞あがる「地吹雪」は、足元さえ見えなくなることもあります。「雪国地吹雪体験ツアー」は、北国の冬の衣装をまとうと雪原を歩き、馬そりに乗って、津軽の料理で冷えた体を温めて、津軽の冬をたっぷり楽しめるツアーです。



【雪国地吹雪体験】

- 期間／1月中旬～下旬の土・日曜 ※実施日は要問合
- ※1日限定10名まで ●料金／一般3,000円、子供500円 ※要予約
- 場所／芦野公園周辺(MAP:●D-2)
- 問／津軽地吹雪会(代表・角田周) ☎080-3195-4036

体を包む大きなブランケット「角巻」

歴史探訪

幻の中世湊湾都市、十三湊と安藤氏

十三湖周辺には、鎌倉時代から室町時代にかけて栄えた、幻の大都市「十三湊」がありました。この都市を築いたのが安藤氏です。彼らは津軽海峡を挟んだ北海道に住むアイヌ民族とサケ・昆布・毛皮など北方産品の交易によって、多くの富と財力を築きました。十三湖周辺には安藤氏が本拠とした「福島城跡」や「唐川城跡」、安藤氏が厚く保護した「山王坊・日吉神社」など、中世の世界を思わせる旧跡が今も残っています。また、遺跡からは中国の白磁や青磁、朝鮮の高麗青磁などさまざまな陶磁器も見つかっています。市浦歴史民俗資料館では、これらの出土品や安藤氏の繁栄を伝える資料を展示しています。

【市浦歴史民俗資料館】

- 時間／9:00～16:00 ●休館／12月1日～翌3月31日
- 料金／一般310円 ●交通／JR五所川原駅より車約50分
- 問／市浦地域活性化センター ☎0173-62-2775
- MAP:●C-1



しじみ採り体験

十三湖に浮かぶ「中の島」は、しじみ採りができる遊漁場やアウトドア施設が充実。かつてこの地に大都市を築いた安藤氏の船をモチーフにした木製遊具や、歴史民俗資料館もあります。



しじみ採り体験

【しじみ採り体験】

- 期間／4月下旬～9月下旬
- 時間／9:00～15:00
- 料金／500円
- 場所／中の島ブリッジパーク (MAP:●C-1)
- 交通／JR五所川原駅より車約50分
- 問／市浦地域活性化センター ☎0173-62-2775



唐川城展望台から十三湖を望む (MAP:●B-2)

